

Local Area News

ネクストリーダー部

結成大会

群馬県電機(商)

群馬県電機商業組合(濱川祐作理事長、組合員376人)は、2月14日、高崎市・ホテルメトロポリタン高崎においてネクストリーダー部結成大会を開催した。



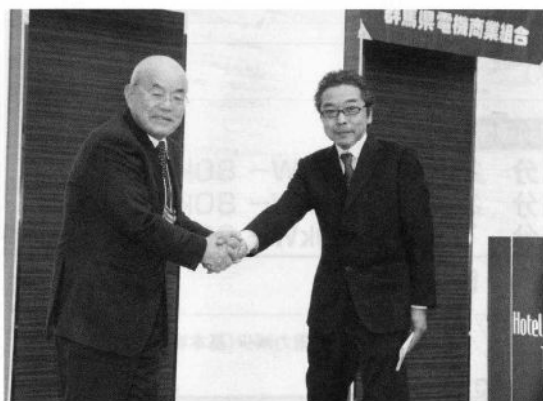
挨拶する濱川理事長

「ネクストリーダー部」とは、組合の青年部組織の呼称。

まず開会にあたり、濱川理事長が挨拶を行った後、和田忠文副理事長が趣旨説明を行い、次いで棚橋伸之代表が決意表明を行った。

今回の発足にあたり、次代を担う後継者を中心とした55人が趣旨に賛同した。今後、メンバーを中心に、メーカー間の垣根を越えた情報交換を積極的に行い、連携強化と後継者育成を目指していく。

その後、(株)ディセンタ代表取締役・折原浩氏により「革新のための発想法」気づきのポイント」をテーマに研修会並びに懇親会が行われた。



濱川理事長(左)と棚橋代表が握手

50周年記念式典開催

太田機械金属工業(協)

太田機械金属工業協同組合(坂本正堂理事長、組合員120人)は、2月14日、太田市・ロイヤルチェスター太田において「創立50周年記念式典」を開催し、来賓・組合員等約260人が集い、半世紀の節目を祝った。

記念式典では、坂本理事長が主催者挨拶で歴代理事長の功績を称え、50年で培われた技術、製造基盤、産業集積などを活かし、次の50年に向かって生き抜き、成長し



挨拶する坂本理事長

ていきたいと述べた。

次いで、大澤正明群馬県知事、清水聖義太田市長、正田寛太田商工会議所会頭より来賓祝辞を頂戴した後、歴代理事長である荻原榮一氏、飯塚利彦氏、吉川彰充氏に対して花束贈呈が行われた。

式典後は、中島飛行機(株)に勤務し、富士重工業(株)で常務取締役を歴任した太田繁一氏により、「中島知久平氏を語る」と題した記念講演が行われた。

太田氏は、中島知久平氏の国産飛行機の生産に対する熱意・実行力・決断力・先見性やユーモアに富んだ思いやりの深い人間味溢れる人物像を、エピソードを交えながら紹介するとともに、太田市の発展の原点ともいえる中島飛行機について語った。

その後は、記念祝賀会が催され、参加者は想い出や将来を語りながら、大いに交流を深めていた。



中島知久平を語る太田氏

震災功労者として

運輸局長から感謝状 群馬県葬祭霊柩事業(協)



感謝状を手にする林理事長

群馬県葬祭霊柩事業協同組合(林直男理事長、組合員40人)は、東日本大震災から1年を経過した3月12日、神奈川県横浜市・関東運輸局にて、「東日本大震災関係功

労者関東運輸局長感謝状」を贈呈された。

今回の感謝状は「御遺体の搬送」の功績に対するもので当組合と表裏一体の(社)全国霊柩自動車協会群馬県支部名で受領。

震災では、自治体との災害協定等に基づき、組合から5台の霊柩車が4日間出動。災害防止のため2人の乗務を義務付け、街灯もない真つ暗闇の中の悪路を走行。路面は気温マイナス14℃で凍結、不案内な土地にもかかわらずカーナビは停止、さらには携帯電話も不通となる中、時には、使用できる火葬場がないため、往復700キロもの距離を早朝から深夜にかけて搬送するなど、悪条件の中、業務は困難を極めたという。

「被災され不幸にも命を落とされた方々のご遺体をその尊厳を失わぬよう搬送し霊柩事業者の使命を全うされた」との感謝状の文面に、「事業者として当然の業務だが、苦勞が報われる」と林理事長。

他に本県からは、「緊急物資輸送」の功績で(社)群馬県トラック協会に、「宿泊施設の提供」の功績で群馬県旅館ホテル生活衛生(同)に感謝状が贈呈されている。

特定信書便事業の許可取得

赤帽群馬県軽自動車運送(協)

赤帽群馬県軽自動車運送協同組合(赤間美代子理事長、組合員157人)は、特定信書便事業の許可を2月29日付けで取得した。群馬県内では、特定信書便を扱う事業者の許可は2社が取得しており、その内の1社が当組合で、協同組合としては県内初となる。

信書とは、特定の受取人に対し、差出人の意思を表示し、又は事実を通知する文書で、手紙や請求書・領収書等が該当し、取り扱については



許可証を受け取る赤間理事長(右)

総務大臣の許可が必要となる。

組合では、既に官公需適格組合の証明を取得し、自治体広報誌などの輸送業務を手掛けているが、厳しい経営環境の中、業務拡大と組合員の経営基盤強化の一環として特定信書便事業への参入を検討し、今回2年がかりで許可を取得した。

今後、組合員10社程度と組合が業務委託契約を結び、5月頃の事業開始を目指し、お客様の高度化・多様化するニーズに対応したサービスを提供していく。

